

平成15年度

東京都教職員研修センター紀要

第3号

平成16年3月

あ い さ つ

東京都教職員研修センター 所長

齋 藤 尚 也

東京都教育委員会は、日本の未来を担う人間の育成に向けて、確かな学力の向上を図るための施策や個に応じた多様な教育を展開するための事業を推進しています。また、学校が抱える組織運営上の課題に対して、人事考課制度の導入をはじめとする様々な制度改革を行うなど、都民に信頼される学校教育の実現を目指して教育改革の具体的な取組みを進めています。

教育改革を実効あるものとするためには、幼児・児童・生徒の教育に直接携わる教員の資質能力の向上が不可欠であると言えます。東京都教職員研修センターでは、教員一人一人が「自ら学び続ける教員」として能力開発に取り組むことができるよう、人事考課と連動した研修体系を構築し、教員のライフステージに応じた研修や、教員が抱える多様な課題に対応した研修を実施しています。一方、研究についてもこうした研修との一元化を図り、教育行政や学校が直面する様々な課題の解決に努めているところです。

一例として、今年度の研究課題に取り上げた「中高一貫教育校における教員研修プログラムの構築」は、平成17年度から順次開設される中高一貫教育校に配置する教員の養成が喫緊の課題となっていることから、その成果が期待されているものです。来年度からの研修は、この研究で開発されたプログラムに基づいて実施されることとなります。

また、特別支援教育の推進に向けて都内の児童・生徒の実態を明らかにし、各学校における校内委員会や個別支援計画等の在り方を追究した取組みも、都の施策についての具体的な方途を示した研究として、今後の教育環境の整備や研修等に反映されるものと考えています。

各学校や教育委員会等におかれては、本紀要に示された研究の成果や提言を教育課題の解決や教員の資質向上に役立てるとともに、教育活動の改善・充実や家庭・地域に対する普及・啓発に活用していただければ幸いです。

終わりに、研究の推進にあたって調査や協議等に協力をいただいた教育委員会や学校の関係者、各委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。

平成16年3月

目 次

通常の学級に在籍する児童・生徒の学習障害(LD)、注意欠陥/多動性障害 (ADHD)、 高機能自閉症等に対応した教育的支援に関する研究	---	3
教科教育の充実のための教員研修の在り方に関する研究(理科教育)	-----	43
学校週5日制実施における児童・生徒、家庭、地域の状況に関する調査研究	-----	61
高校生のための自然科学・社会科学発展学習プログラムの開発	-----	87
社会貢献の活動を通して人権尊重の精神をより一層高めるための指導の改善	-----	105
中高一貫教育校における教員研修プログラムの構築	-----	121
基礎的・基本的な内容の定着に関する調査研究	-----	143
総合的な学習の時間の成果に関する調査研究	-----	169